農業と食を通じた〝元気〟づくり

組合員とＪＡのコミュニティ誌わい！わい！ひまわり vol.440

Wai!Wai! Himawari

特集 スプレーマムとスプレーマム部会



組合員とともに JA自己改革 実践中 JAひまわり

12
DECEMBER
2026

JAひまわり

Wai!Wai! Himawari
組合員とＪＡのコミュニティ誌　わい！わい！ひまわり
vol.440
2026 DECEMBER 12

2　役員メッセージ
2　ひまわりキッズ
3　特集　スプレーマムと
　　スプレーマム部会
6　ひまわりダイジェスト
8　農 ―Farmers―
9　部会とともに
10　げんきの源
11　暮らしサプリぷらす
12　園 ―Gardening―
13　家庭菜園
14　SDGsな女性部
15　To the future ―未来へ―
16　ひまわり掲示板
18　MEMBER'S VOICE
18　地域農業応援店のWA!
19　理事会報告
20　お出かけまりくん

役員メッセージ



常務理事
（経済事業担当）
溝口隆文

今年も残り１か月となりました。

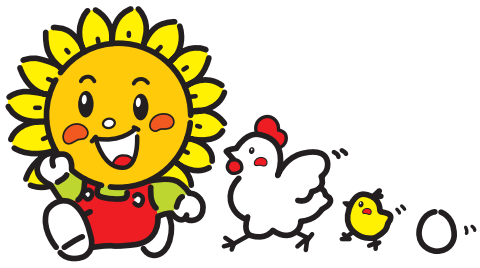
年初には宇連ダムの貯水率が残りわずかとなり、例年どおりに田植えが行えるか心配されましたが、ぎりぎりのところで雨が降り、無事に田植えを行うことができました。また、千葉県や尾張地域などで甚大な水害が発生した一方、この地域では夏場も雨が少なく、年に２回も節水が呼び掛けられる事態となりました。

当ＪＡでは毎年、常勤役員・幹部職員が100名の生産者のお宅を訪問し、農業やＪＡに対する意見・要望をお聞きする機会を設けています。その際、ある露地野菜の生産者が「最近の酷暑は、これまでの栽培方法が通用しない暑さだ」と話されていました。酷暑への対応は喫緊の課題であり、多くの品目で営農指導員とともに高温対策を模索しています。

地球温暖化に伴う酷暑や大雨は、もはや異常気象ではなく、これからは当たり前になるともいわれています。こうした気象条件の変化によって、農畜産物の生産はこれまで以上に難しくなっています。

さらに、ロシアによるウクライナ侵攻やイラン情勢などの影響もあり、原油や生産資材の価格高騰が続いています。農畜産物の生産コストが上昇する一方、その上昇分を販売価格に十分反映できていない状況が続いています。

消費者の皆さまも、日用品などの物価高騰が続く中、日々の家計のやりくりに苦心されていることと思います。そうした中でも、普段のお買い物で国産・地元産の農畜産物を選び、地域農業を応援していただいていることに、感謝いたします。



JAひまわりキャラクター まりくん



今月のひまわりキッズ HIMAWARI KIDS

加藤　貴穂（きほ）さん（4歳）

加藤　貴之さん、恵子さんのお子さん
〈御津町〉

Q.好きな食べ物は何ですか？
A. トマト、ご飯、ブロッコリー、ハム、スープ

Q.好きな遊びは何ですか？
A. 歌をうたったりダンスをする
　祖父母や父親の畑作業の手伝い、かけっこ

Q.ご両親からのメッセージ
A. 元気で健康に、心身ともにすくすく大きく成長してね。





特集 スプレーマムとスプレーマム部会

1974年、豊川市から始まった日本のスプレーマム。生産者たちが技術を磨き、産地としての歴史を築いてきました。今では色や形も豊かに広がり、暮らしを彩る花として親しまれています。その歩みと、今の魅力を紹介します。



豊川市とスプレーマムの歩み

産地の挑戦が、日本のスプレーマムの歴史をつくった

豊川市のスプレーマムは、最初から大きな産地だったわけではありません。1974年、新しい洋菊の栽培に挑んだ生産者たちが、品種や栽培方法を一つずつ確かめながら技術を築いてきました。生産者が増え、品質が高まり、出荷体制も整えられ、やがて全国に知られる産地へ。半世紀にわたるその歩みには、時代ごとの挑戦と工夫が積み重なっています。

1968年 豊川用水と施設園芸の発展

1968年に豊川用水が全面通水し、安定した農業用水を確保できる環境が整いました。これを背景に、この地域では施設園芸が発展し、花き栽培の基盤も少しずつ築かれていきました。

1974年 日本で初めてスプレーマムを導入

1974年、欧米で栽培されていたスプレーマムが、全国に先駆けて豊川市に導入されました。当時、この地域では和菊の栽培が盛んでしたが、生産者たちはそれまでになかった洋菊の栽培に挑戦。
ここから豊川市のスプレーマムの歴史が始まります。

1970年～1980年代 産地としての基礎を築く

導入後は、品種ごとの特性や栽培方法を確かめながら試行錯誤を重ねました。生産者同士で技術を共有し、周年栽培や安定出荷に向けた取り組みを進めることで、生産量も徐々に拡大。スプレーマム産地としての基礎を築いていきました。



1990年代 全国に認められる産地へ

品質向上や品種研究が進み、当地域のスプレーマムは品評会などでも高い評価を受けるようになります。1992年には世界花博覧会で金賞、1995年には農林水産大臣賞を受賞し、産地としての知名度と評価を高めていきました。







1993年 スプレーマム部会が発足

1993年には、部会員104人でスプレーマム部会が発足しました。品種検討会や研究活動などを通じて、生産者同士が技術を共有し、産地全体で品質向上に取り組む体制が整えられていきました。





1990年代後半～2000年代 産地を支える仕組みづくり

花き集出荷センターの整備などにより、荷受けから出荷までの効率化や省力化が進みました。生産者が花を作る技術だけでなく、安定した品質で市場へ届けるための仕組みも整えられ、産地の発展を支えてきました。



2010年代 新たな需要へ挑戦

スプレーマムは仏花や供花として広く親しまれてきました。一方で、暮らしや花の使われ方が変化する中、ブライダルや家庭での観賞、フラワーアレンジなど、新たな楽しみ方の提案にも取り組んできました。2018年には「とよかわブランド」にも認定されています。



2020年代 次の時代へ

現在も、新品種の試験栽培や環境制御技術の活用など、新たな挑戦が続いています。長年培ってきた技術と産地としての誇りを受け継ぎながら、時代に求められるスプレーマムを探し続けています。





スプレーマム部会
部会長
牧野 徹さん

スプレーマムを日本で栽培し始めた当時の慧眼や先見の明には、尊敬しかありません。新しい花の栽培に挑戦することは、とても勇気のいることだったと思います。そうした先人たちの思いを受け継ぎ、豊川市は長年にわたり、品質にこだわる産地として歩んできました。

スプレーマムには、さまざまな色や花の形があり、ご家庭でも飾りやすい花です。日本では仏花や供花のイメージが強いかもしれませんが、ヨーロッパでは日常の中で気軽に楽しまれています。

日本でも、もっと暮らしの中でスプレーマムを楽しむ文化が広がっていけばいいと思っています。

季節で変わるスプレーマム

スプレーマムは、出荷する時期によって大きく「夏秋系」と「秋系」に分けられます。盆や彼岸、年末年始など、花を飾る機会に合わせて求められる色や花形も変わります。季節ごとに異なる表情を見せることも、スプレーマムの魅力の一つです。

夏秋系
〈春～秋〉

盆や彼岸を彩る定番の花

夏秋系のスプレーマムは、主に7～9月の暑い時期に出荷され、盆や秋彼岸などの需要を支えています。白・黄・ピンクなどのスタンダードな花が中心で、仏花や供花として長く親しまれてきました。

暑い季節にも安定した品質の花を届けるため、生産者は開花時期や品質を細かく管理し、需要が集中する時期に合わせて出荷しています。





秋系
〈秋～初夏〉



年末年始には多彩な花が登場

秋系のスプレーマムは、主に10月から翌年6月頃にかけて出荷されます。年末年始などの需要期には、白・黄・ピンクなどのスタンダードな花に加え、赤や紫、グリーン、複色など、色や花形に特徴のある「変わり花」も多く登場します。

仏花や供花だけでなく、部屋に飾ったり、贈り物やフラワーアレンジに使ったりと楽しみ方もさまざま。豊かな色や形を生かし、暮らしの中で気軽に楽しめる花としての魅力も広がっています。



スプレーマムを使ったアレンジフラワーの作り方を動画でご紹介します

「スプレーマムをもっと暮らしの中で楽しんでほしい」。そんな思いから、地元の生花店にスプレーマムを使ったアレンジを教えていただきました。

誌面の二次元コードから作り方動画をご覧いただけます。豊川市産スプレーマムを、ぜひ暮らしの中でも楽しんでみてください。

スプレーマムのリース



色や花形の異なるスプレーマムを組み合わせ、華やかなリースに仕上げます。花の配置や色合わせなど、家庭でも挑戦しやすい作り方を動画で紹介します。

スプレーマムドーム



スプレーマムを丸くドーム状にアレンジし、花の色や形の違いを楽しみます。見る方向によってさまざまな表情が楽しめる、スプレーマムの多彩さを生かした飾り方です。

基本の作り方

正月飾りにも

撮影協力：Flower & Heart「花幸」

10/7 中核的担い手100人との対話を実施
農業者の声を今後の事業や計画に生かす

当ＪＡは、地域農業を支える中核的担い手100人を対象に、役員や幹部職員による訪問・対話活動を実施しました。この取り組みは2022年度から継続しており、農業者が抱える課題やＪＡへの要望などを直接聞くことを目的としています。訪問先では、資材価格の高騰や後継者不足、空きハウスの活用などについて意見を交わしました。寄せられた意見は、次期中期総合計画や地域営農ビジョンの検討などに生かしていきます。



▲大葉生産者の話に耳を傾ける杉江組合長ら



▲ハラスメント対策や労務管理について講師の説明を聞く生産者

10/9 農業者向け労務管理研修会を開催
ハラスメント対策や労働関係法令への理解を深める

当ＪＡは、総合集出荷センター管理棟で農業者を対象とした労務管理研修会を開催し、生産者17人が参加しました。研修会では、特定社会保険労務士の青嶋輝さんを講師に迎え、ハラスメント対策や最低賃金の改定、労災保険の適用拡大などについて説明しました。講師は、従業員を指導する際には人格ではなく具体的な行動を指摘することが重要と伝え、参加者は適切な労務管理への理解を深めました。

10/10 森林保全活動「水守森林活動」を実施
下草刈りを通じて森林の保全と育成に取り組む

杉江繁宏組合長と職員は、豊川市平尾町にて森林保全活動「水守森林活動」を行いました。この活動は、森林の保全・育成・再生を目的に毎年行われているものです。参加者は森林内の下草刈りなどに取り組み、木々が健やかに育つ環境を整えました。山の豊かな自然は、川を通じて農地や海にもつながっています。当ＪＡは今後も活動への参加を通じて、地域の自然環境を守る取り組みを続けていきます。



▲森林内で下草刈りに取り組む職員

10/13

豊川市へ農業政策要望書を提出
農業経営の課題解決に向け13項目を要望

当ＪＡは、豊川市へ「令和９年度農業政策要望書」を提出しました。要望書には、地域農業が抱える課題への支援を求める13項目を掲載しました。今年度は新たに、園芸用施設などの老朽化対策、食料品の消費税率引き下げに伴う農業者の負担軽減、生成AIなどを活用した農業経営の効率化推進を要望しました。今後も行政と連携し、地域農業の振興に取り組みます。



▲豊川市へ農業政策要望書を提出する杉江組合長(左)


▲刈り取った稲を抱えて運ぶ赤坂小学校の児童

10/13

赤坂小学校の児童が稲刈りを体験
地域のボランティアと米づくりを学ぶ

赤坂小米づくりボランティアの会と赤坂小学校５年生の児童は、赤坂町内の水田で稲刈りを行いました。児童たちは、地域のボランティアの指導を受けながら鎌を使って実った稲穂を次々と刈り取りました。刈り取った稲は児童たちが抱えて運び、コンバインによる脱穀作業も行われました。今回収穫した米は、12月に開催するもちつき大会で使用する予定です。児童たちは稲刈りを通じて、米づくりの大変さや収穫の喜びを学びました。

10/14

秋季鉢物研修会を開催
年末商戦に向けて市場関係者と情報を交換

鉢物部会は、秋季鉢物研修会を開催し、部会員や市場関係者ら約70人が参加しました。研修会では、シクラメンなどの生育状況を確認し、年末商戦に向けて情報を交換しました。今年は８月の猛暑や９月の長雨など栽培管理に苦労しましたが、生育はおおむね順調に進んでいます。参加者は市場関係者との交流を通じて、産地の状況や品質への理解を深め、今後の販売に向けて連携を図りました。


▲シクラメンを前に生育状況や販売について意見を交わす生産者と市場関係者



農業はなくてはならない 養鶏を守り続けていければ

now 農 -Farmers- ファーマーズ

vol.48

農畜産物を生産・出荷している方をご紹介します

養鶏部会所属

田中 宏和さん

21歳で家業を継ぎ、養鶏の道へ

21歳で親元就農し、家業の養鶏を継いだ宏和さん。現在は約6,000羽の鶏を飼育し、1日におよそ4,500個の卵を生産しています。産み落とされた卵は一つ一つ集めてコンテナに入れ、出荷しています。

飼育しているのは、白い羽の「さくら」と茶色い羽の「もみじ」という純国産鶏です。「さくら」は淡い桜色、「もみじ」は褐色の卵を産むのが特徴です。

養鶏で大切なのは、日々の体調管理です。夏の暑さで鶏が熱中症になることもあり、飼育環境には気を配ってい



畜産課 鈴木 邦洋さん(左)
養鶏部会担当 河合 利菜さん

部会とともに

お互いの印象は？

田中さん：1年目の職員ということで、頑張ってほしいです。

河合さん：養鶏以外にも水稲、露地野菜もやっていて多忙な方という印象です。

あなたにとってどんな存在ですか？

田中さん：他の農家や産地などいろいろな情報提供をしてほしいと期待しています。

河合さん：養鶏農家は産地にとって1人も欠かせない存在です。今後も続けてほしいです。

相手の方にメッセージをどうぞ

田中さん：今後とも頑張ってもらいたいです。

河合さん：情報を届け、農家所得の向上に貢献できるように頑張ります。

JAHIMAWARI

田中さんが所属している

養鶏部会

生産者数　6名　　飼育羽数　約13.8万羽
生産時期　毎日

養鶏部会では、安全・安心な卵を届けるため、日々の飼育管理を徹底しています。鶏に与えた飼料の記録を残すとともに、品質と信頼性を重視した飼料を使用しています。また、経済連の獣医師による月1回の疾病検査や、JA職員による巡回を実施し、鶏の生育状況や飼育環境を確認しています。こうした取り組みを通じて、安全で良質な卵の生産に努めています。



畜産は防疫が重要です。公用車も畜舎に出向く際は必ず消毒をして、防疫を徹底しています。

ます。また、成長に合わせて鶏舎を移動させる作業も大きな負担です。鶏はおよそ生後150日で卵を産み始め、その後も毎日の管理が欠かせません。

新鮮な卵を届け、養鶏を続けていく

生産した卵はグリーンセンターにも出荷しています。朝に産まれた卵がその日のうちに店頭に並ぶこともあり、新鮮さが利用者から好評です。

宏和さん自身も卵をよく食べるといい、おすすめは目玉焼き。塩とこしょうだけのシンプルな味付けで楽しんでいます。

宏和さんにとって、農業は「なくてはならないもの」です。「養鶏は、新しく始めようと思っても簡単にできる仕事ではありません。自分もできる限り続けていきたいです」と話してくれました。

※グリーンセンターでの出荷者名は「田中幸子」です。



recipe
卵

きりぼし大根のオムレツ

材　料（2人分）

卵…… M3個（1個当たり60g）
切り干しダイコン……30g
ニンニク……1片（5g）
青ネギ…… 2本（50g）
ごま油…… 大さじ1+大さじ1/2
しょうゆ…… 小さじ2
塩…… 1つまみ
こしょう……少々

作り方

❶切り干しダイコンはひたひたの水に10分浸けて戻し、ぎゅっと絞ってから長さ3㎝のざく切りにしておく。ニンニクはみじん切り、青ネギは小口切りにしておく。
❷フライパンにニンニクとごま油（大さじ1）を熱し、香りが出たらネギと切り干しダイコン、しょうゆを加え、きつね色になるまで炒める。
❸ボウルに卵と塩、こしょうを入れて混ぜ、②を加えて混ぜる。
❹②のフライパンを軽く拭いて、残りのごま油（大さじ1/2）を引き、③を加えて丸く延ばし、外側が固まったらひっくり返してよく焼いて出来上がり。

ポイント

切り干しダイコンを戻すときの水は、多過ぎずひたひたくらいにするとうま味が逃げにくいです。

げんきの源
Genki no minamoto

今月の食材！ 卵

毎日の食卓を支える身近な食材

卵は、良質なたんぱく質をはじめ、ビタミンやミネラルなど、さまざまな栄養素を含む身近な食材です。ゆで卵や卵焼き、オムレツなど、調理方法によって異なる味わいや食感を楽しめるほか、料理のつなぎや衣などにも使われ、毎日の食卓で幅広く活躍しています。

卵に含まれるたんぱく質は、筋肉や皮膚など体をつくるために欠かせない栄養素です。野菜と組み合わせた卵料理は、さまざまな栄養素を一度に取ることができ、日々の健康づくりにも役立ちます。

卵の殻には白色や褐色などの違いがありますが、これは主に鶏の品種によるものです。殻の色によって栄養価やおいしさが大きく変わるわけではありません。また、卵黄の色も鶏が食べる飼料によって変化するため、色の濃さだけで栄養価を判断することはできません。見た目の違いを知ることで、卵選びの楽しみも広がります。

豊川市内には6軒の養鶏農家があり、地域の食卓を支えています。当ＪＡのグリーンセンターにも地元生産者が育てた鶏の卵が出荷されており、新鮮な地元産卵を購入することができます。毎日の料理に欠かせない卵だからこそ、地元で生産された卵にも目を向け、そのおいしさを楽しんでみてください。





健康や経済、先進技術などなど…　暮らしに役立つ知識をピックアップ

暮らしサプリ ぷらす

supplement of a living plus

新年を彩る伝統文化「しめ縄」

新しい年を迎える準備として、玄関などに飾られる「しめ飾り」。年神様を迎える神聖な場所であることを示す正月飾りです。

その中心となるしめ縄には、古くから稲わらが使われてきました。今回は、しめ縄に込められた意味と、農や暮らしとのつながりを紹介します。

しめ縄とは？

しめ縄は、神聖・清浄な場所であることを示すものとされています。正月には、しめ縄に紙垂（しで）などを付けた「しめ飾り」を玄関などに飾り、年神様を迎える準備をします。

稲わらとのつながり

しめ縄の材料として使われる「稲わら」は、米を収穫した後に残る稲の茎です。

稲わらは昔から、縄や生活道具、家畜の飼料、堆肥など、さまざまな用途に活用されてきました。しめ縄もその一つです。

米を実らせた稲が、新しい年を迎える飾りとしても暮らしに生かされています。



しめ縄はいつから飾る？

正月の準備は、伝統的に12月13日ごろから始められてきました。

正月飾りは年末までに準備し、29日や31日に飾ることを避ける習慣があります。地域や家庭によって異なるため、それぞれのならわしに合わせて準備しましょう。

飾り終えたら

正月飾りを外す時期や方法は地域によって異なります。

多くの地域では、小正月のころに行われる「左義長」や「どんど焼」などで正月飾りを納める習慣があります。神社へ納める場合は、受け入れ方法や日時を事前に確認しましょう。

一輪一輪に思いを込めて 絢爛に咲き誇る千輪づくり



Ep.48

丸山 元さん
上長山町

en 園 ガーデニング -Gardening-

家庭菜園やガーデニングを楽しんでいる方をご紹介します

温室の中で鮮やかな黄色の菊が大きく咲き誇っています。元さんは、約250輪もの花を一つの株から咲かせる「千輪づくり」を毎年手掛けています。

元さんが千輪づくりを始めたのは40歳ごろ。園芸会社のカレンダーに掲載されていた見事な菊の姿に感銘を受け、自分でも挑戦してみようと思ったことがきっかけでした。

千輪づくりは、前年から挿し芽をして株を育て、完成までに1年以上の歳月をかけます。元さんが育てているのは、黄色の花が特徴の「あだたらの輝き」という品種です。成長に合わせて芽を摘み、枝の伸び方を見極めながら、全体が理想の形になるように仕立てていきます。特に終盤は、一輪一輪を輪に合わせて配置し、高さや向きをそろえる細かな作業が続きます。また、開花時期を調整するため、夕方4時から翌朝8時まで毎日遮光するなど、日々の管理にも気を配っています。



最上部だけ異なる色の花を咲かせているのは、接ぎ木による元さんならではのこだわりです。今年は特に出来栄えが良く、11月上旬には豊川市民病院や市役所前にも飾られ、多くの人の目を楽しませる予定です。

「きれいにできたときはうれしさを感じます。今年は腕が痛くて管理が大変でしたが、毎年楽しみにしてくれる人がいるので、これからも頑張りたいです」と元さんは笑顔で話しました。

プロが教える
ワンポイント
アドバイス！

家庭菜園

Home vegetable garden

園芸研究家　成松次郎

［カブのトンネル栽培］

寒さに強い品種選びと適切な温度管理を

カブは暑さと乾燥に弱いものの、寒さには比較的強いという特徴があります。中間地では露地栽培は3、4月まきになりますが、トンネル栽培は2月まきができます。生育促進と、とう立ち防止のためにトンネル、べたがけ、マルチ資材での保温が必要です。

1 品種

カブには形や大きさ、色などに特徴のある品種が数多くあります。春から初夏に収穫するトンネル栽培では、とう立ちが遅く（晩抽性）、耐寒性のある、鮮白色で球形の小カブを使います。低温肥大の良い「雪牡丹」（武蔵野種苗園）、晩抽性の「CR白涼」（トーホク）、白さび病などに強い「二刀」（サカタのタネ）などがあります。

2 保温資材

トンネルフィルムには、開孔率1、2%の農POが多く使われ、換気作業が省力化されます。べたがけの不織布は保温効果や霜よけ効果があり、透光性も高いので、トンネル内の野菜上に直接かけて保温効果を高めます。マルチは地温上昇効果が高い資材です。地温確保には透明、雑草の抑制には黒色を使い、条間・株間は15cm間隔などの穴開きフィルムを選びます。トンネルの土台となる支柱を約60cm間隔に差し、フィルムの裾は土で埋め、フィルムの上に押さえる支柱を差し込むなどして保温と耐風性を高めます。

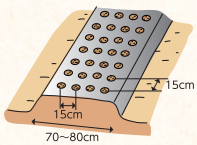
3 畑の準備

種まき2週間前に、1平方m当たり苦土石灰100gを全面にまき、深く耕しておきます。1週間前に化成肥料（NPK各成分10%）100gと堆肥1、2kgをまいてよく混和しておきます。

4 畝立て

幅70～80cm、高さ5～10cmのベッド（栽培床）を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水（かんすい）して土壌水分を適度な状態にし、マルチを敷きます。

5 種まき



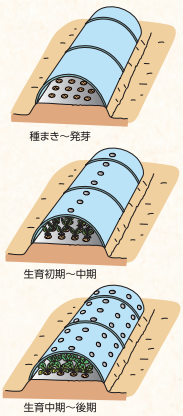
種は1穴当たり4、5粒をまき、1cmほど土をかけます（左図）。その後は、発芽促進と幼苗の保温のために、べたがけしてトンネルを被覆します。

6 ［間引き］

発芽し、双葉がそろった時点で、密になっている部分を間引きます。その後、本葉2、3枚で生育の劣る株を間引いて2本にし、本葉4、5枚で最終的に1株立ちにします。

7 ［トンネルの換気方法］

冷涼地や中間地の2、3月はまだ夜温は低いですが、昼間のトンネル内気温は高くなるため、最高気温20～25度を目安に換気します。開閉する方法やフィルムに穴を開ける方法、穴開きフィルム（開孔率1、2%）を使う方法があります（右図）。本葉1、2枚の頃から換気を開始し、徐々に換気を大きくして、さらにフィルムの裾を上げるなどして、生育後半にトンネル内の茎葉が繁茂する頃、遅くてもヤエザクラが開花する頃（関東などの本州平野部で4月中旬～5月上旬）にトンネルを除きます。

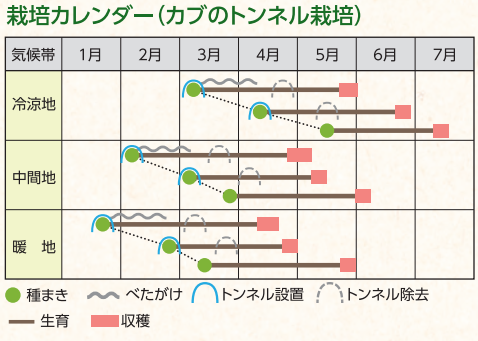


8 ［収穫］

直径5、6cmが収穫適期です。気温上昇期にはすぐに肥大するため、裂根や根の内部がスポンジ状や空洞となる「ス入り」に注意してください（下図）。



栽培カレンダー（カブのトンネル栽培）



SDGsな女性部

女性部のできごとをお伝えします

大豆を使った料理教室を開催

おいしく学んで健康づくり

10月６日、ＪＡ愛知厚生連の管理栄養士を講師に迎え、「大豆料理でおいしく健康」をテーマに料理教室を開催しました。

参加した14人は、豆腐や豆乳などを使い、「豆ツナハンバーグ」「もやしと青菜のきな粉和え」「豆乳白だしクラムチャウダー」「アーモンドおからクッキー」の４品を調理しました。

参加者からは「豆製品を食べることは大切だと知っていたけれど、料理のレパートリーが少なかった」「簡単だったので、家でも作りたい」といった声が聞かれました。身近な大豆製品の活用方法を学びながら、健康的な食生活について考える機会となりました。







ソフトバレーボール大会を開催

8チームが熱戦を繰り広げ交流を深める

ＪＡひまわり女性部は、シントー　ハート　アリーナ（豊川市総合体育館）でソフトバレーボール大会を開催しました。

大会には、こすもすＡ・Ｂ（豊川西事業所）、アクティブＡ・Ｂ（一宮事業所）、シクラメン・ガーベラ（御津事業所）、ひまわりＡ・Ｂ（女性部混合チーム）の計８チーム、40人の女性部員が参加しました。

昨年を上回るチーム数となり、会場では白熱した試合が繰り広げられました。熱戦の結果、アクティブＡが優勝、こすもすＢが準優勝に輝きました。参加者からは「昨年よりもチーム数が増え、女性部員同士で楽しく交流できてよかった」といった声が聞かれ、スポーツを通じて健康づくりと親睦を深める大会となりました。









JAひまわりの部署・職員・組合員組織を紹介します

To the future 未来へ



生活部 燃料課 生活センター

豊川市馬場町上石畑65番地
☎89･5558　FAX85･0099
営業時間　8:30～17:00
休 業 日　土･日･祝日

生活部燃料課は、農業と地域のくらしに欠かせないエネルギーを支える部署です。施設園芸で使用する重油や灯油の受注・配送をはじめ、家庭へのＬＰガスの供給、ガス器具・ＩＨ器具などの販売を行っています。また、ＬＰガスを安心して利用してもらうための安全管理や、家庭用・農業用の「ＪＡでんき」の提案など、エネルギーに関する幅広い相談に対応しています。農業生産の現場から毎日のくらしまで、それぞれの利用者に合わせたサービスの提供に取り組んでいます。

藤谷課長は「農業やくらしに欠かせないエネルギーを扱う部署として、安全・安心を第一に、利用者の皆さんに信頼してもらえる対応を心がけていきたい」と話しました。



ピックアップ職員



白井 孝行さん（左）

Q.好きなことは何ですか？
温泉に行くこと

Q.最近感動したことは何ですか？
能登半島にバイクでツーリングに行き、被災地ボランティアに参加したこと

目指す職員像
いろいろなことができて相談にのれる職員

田中 亮裕さん

Q.好きなことは何ですか？
アニメ「ハイキュー」を観ること

Q.最近感動したことは何ですか？
アニメを観ていて、感動して泣いてしまった

目指す職員像
部署で信頼される職員になる、専門性を身につけて、組合員・利用者からも信頼される職員になる

令和8年度 年末年始営業日のご案内

部署等	令和8年12月						令和9年1月			
	26(土)	27(日)	28(月)	29(火)	30(水)	31(木)	1(金)	2(土)	3(日)	4(月)
ATMコーナー						①	①	①	①	
金融・共済	休	休				休	休	休	休	
営農資材センター						休	休	休	休	
営農資材センター東部出張所		休			休	休	休	休	休	
西部営農センター購買						休	休	休	休	
農機センター		休			休	休	休	休	休	
農機センター西部出張所		休			休	休	休	休	休	
グリーンセンター							休	休	休	休
産直ひろば御津		休					休	休	休	休
Aコープ小坂井店							休	休	②	
介護福祉センター						休③	休③	休③	休③	
燃料(重油・灯油の受付)	休	休				休④	休④	休④	休④	
ガソリンスタンド				⑤		⑥	休	休	休	⑥
ローンセンター・不動産相談センター					休	休	休	休	休	
その他一般	休	休				休	休	休	休	

①稼働ATM：本店・牛久保支店・一宮支店東上店・音羽支店・御津支店 (9:00～17:00)　本店イオン店 (9:00～21:00)
豊川支店グリーンセンター豊川店 (9:00～18:00)　八幡支店・こうごゆ支店・一宮支店・小坂井支店 (9:00～19:00)
②3日のみ短縮営業 (10:00～18:00)　[Aコープ小坂井店　通常営業時間　9:00～19:00]　③訪問介護＝個別対応 (緊急時を含む)
④ 緊急時の重油配達のみ対応　⑤12/29 (火) 小坂井カーケア臨時営業 (9:00～20:00)　⑥全セルフスタンド 営業時間(7:00～19:00)

看護師を目指すかたへ JA愛知厚生連 令和9年度 一般入試のお知らせ

令和９年度(2027年度)一般入試の出願が始まります。出願を希望される方は各学校のホームページ募集要項をご確認のうえ、ご応募ください。

〈JA愛知厚生連　看護専門学校の特色〉

- 奨学貸与金制度があります
- 看護師国家試験受験資格が得られます
- 卒業後は、JA愛知厚生連の病院に勤務できます
- 令和９年度も高等教育の修学支援新制度対象校です

JA愛知厚生連　更生看護専門学校
〒446-0026 安城市安城町東広畔47-1
☎0566・76・3420
出願期間　令和９年１月４日(月)～ １月22日(金)
試 験 日　令和９年１月27日(水)
募集人員　40名

JA愛知厚生連　愛北看護専門学校
〒483-8086 江南市高屋町大松原137
☎0587・51・3350
出願期間　12月11日(金)～ 令和９年１月７日(木)
試 験 日　令和９年１月13日(水)
募集人員　40名

JA愛知厚生連　加茂看護専門学校
〒470-0343 豊田市浄水町1-58-5
☎0565・43・5101
出願期間　12月11日(金)～ 令和９年１月６日(水)
試 験 日　令和９年１月14日(木)
募集人員　40名

※募集人員には社会人・推薦入試を含みます

不要農業用資材の有料回収について

不要農業用資材の有料回収を下記の日程で行います。回収にあたっては事前の申し込みが必要となります。

申込用紙は、農機センター、農機センター西部出張所、総合集出荷センター、営農資材センター、営農資材センター東部出張所、西部営農センター購買窓口、各事業所に設置します。

〈回収場所・日時〉

回収場所	回収日時	回収物の種類
御津ライスセンター(御津町上佐脇西区117-1)	12月8日(火) 9:00～11:00	廃ビニール・廃ポリ
	12月8日(火) 13:00～15:00	廃プラ

〈お問合せ先〉　農機センター　☎85・2555
農機センター西部出張所　☎76・2200



水曜日がお得！

わい！わい！ポイント制度キャンペーンについて

ポイント3倍デー

実施店舗 グリーンセンター豊川・一宮・音羽
産直ひろば御津
Aコープ小坂井店
★水曜日が定休日の場合は、その前日の火曜日

各種相談のご案内

遺言・相続相談会（事前予約が必要です）

12月18日〈金〉
令和9年
1月15日〈金〉（受付開始12月1日（火）9:00～）

13:00～17:00（1日4組・1組50分間）
本店　組織活性課　☎85・3195

年金相談会（事前予約が必要です）

12月2日〈水〉
12月12日〈土〉
令和9年
1月16日〈土〉
1月27日〈水〉

9:00～16:00
本店　金融課　☎85・3173

土曜共済相談会

12月12日〈土〉

9:00～16:00
本店　共済課　☎85・3590

税務相談会〈奇数月25日〉（事前予約が必要です）

令和9年
1月25日〈月〉

14:00～17:00（1日3組・1組50分間）
本店　組織活性課　☎85・3195
小坂井支店　☎78・3141
御津支店　☎76・2131

一宮支店のみ
1月26日〈火〉

一宮支店　☎93・3535

土曜・日曜ローン相談会

毎週土曜・日曜日

9:00～17:00
ローンセンター　☎56・7770

土地売却相談・土地活用相談・相続税試算相談

不動産相談センター　☎89・6211

随時開催しています。
※ご希望の方は事前にお問合せください

介護相談

介護福祉センター　☎83・8580

介護に関することはお気軽にご相談ください。
※介護サービスを利用していない方が対象です

葬儀相談

やすらぎ会館三蔵子 葬祭課　☎85・0900
相談受付10:00～15:00

何でもご相談ください。

LPガス相談

燃料課　☎89・5558

▲各種相談は随時受付しています。
事前にお電話いただけると受付がスムーズです。

グリーンセンター・産直ひろば・Aコープ小坂井店 12月休業日のお知らせ

グリーンセンター豊川・一宮・音羽	無　休
産直ひろば御津	毎週日曜日
Aコープ小坂井店	無　休

グリーンセンター・産直ひろば・Aコープ イベント情報

グリーンセンター全店

▶12月5日（土）・6日（日）
豊川市産のお米「がき大将」フェアを開催

JAひまわりのオリジナル商品「がき大将」の試食会、特売を行います。豊川市産の新米をぜひ、お試しください。

農機センター 12月休業日のお知らせ

農機センター	☎85・2555	水曜日・日曜日・祝日
農機センター西部出張所	☎76・2200	

LINE公式アカウントにてJAひまわりの情報を配信しています！

JAひまわりでは、LINE公式アカウントにて毎月1日と15日に、JAひまわりに関する情報をお届けしています。イベント情報や旬の農産物情報のほか、LINE公式アカウント限定の情報も配信しています。

ぜひ「友だち追加」をして、配信をお楽しみください。

JAひまわり
LINE公式アカウント

インスタグラムにてグリーンセンターの情報を発信しています！

ＪＡひまわりでは、インスタグラムにて直売所の情報などを発信しています。各店舗に並ぶ旬な農産物をご確認いただけます。ぜひ、フォローをお願いします。

グリーンセンター・産直ひろば
インスタグラム

JAHIMAWARIGREEN

MEMBER'S VOICE お便り紹介



貴重なご意見・ご要望をありがとうございます

皆様のご要望に応えられるよう、より一層努めてまいります

▼10年後も農業を続けていくために新しい資材、技術の情報提供など安定した経営の支援をしてください。お願いします。（60代　市田町）

▼若手農家の就農の意気込みが伝わってきました。日々変わる世界情勢に対抗しながら、毎日が大変だと思います。消費者として地元の農産物を使うことがお手伝いだと思います。若手農家の皆さん頑張ってください。（80代　桜町）

▼よく目にする「ほいちゃんきのこ」について知れました。肉厚で、軸もしっかり使っています。（60代　八幡町）

▼農業で安定した収益を上げることは大変なことなんですね。JAの支援がいかに大切なことかを知りました。（70代　佐土町）

JAに対するご意見・ご要望を！

多くの組合員・利用者の皆様からのご意見・ご提案をお待ちしています。なお、次ページの専用はがき以外（官製はがき、封書）での投稿も受け付けています（その場合の郵送料は応募者負担です）。

グリーンセンターや産直ひろばで販売する農産物を使用する「地域農業応援店」を紹介します



〈地域農業応援店〉

NEW!

農家の食卓
たま

豊川市西香ノ木町2丁目46-1
☎080･5143･6659

［営業時間］
17:00～23:00
（ラストオーダー22:30）
［定休日］
毎週月曜定休





大葉農家と料理人が届ける、香り豊かな一皿

豊川市西香ノ木町に店を構える「香味食彩たま」は、大葉やハーブを栽培する農家が営む居酒屋です。自分たちが育てた農産物を使った料理を届けたいとの思いから、2026年9月にオープンしました。

料理を手掛けるのは、豊川市内でイタリア料理店を営んでいた経験を持つ店主。和食を中心に、イタリア料理の技術も生かしながら、大葉やハーブ、旬の食材の持ち味を引き出した一品を提供しています。農家と料理人、それぞれの経験を生かした料理を、お酒とともにゆっくりと楽しめるお店です。



大葉とハーブを主役に

店内では、大葉を添え物としてだけでなく、料理の主役として味わえます。好きな料理に加えられる「追い大葉」のほか、大葉ジェノベーゼを使ったパスタや、大葉を使ったサラダ、旬の食材を焼き上げる石窯料理などが並びます。

ローズマリーを加えたポテトサラダをはじめ、農家だからこそできる、新鮮な大葉やハーブを生かした香り豊かな料理が魅力です。料理の内容は、季節や仕入れによって変わります。

「地域農業応援店」随時募集中 詳しくは企画課までお問い合わせください。☎85･3171

事業データ

販売品販売高	42億6,009万円
購買品供給高	27億4,782万円
貯金・定期積金	3,308億　751万円
貸出金	783億9,744万円
長期共済保有高	5,745億　655万円
年金共済保有高	71億8,794万円
組合員	正組合員　6,634人 准組合員 29,518人

令和8年9月30日現在

理事会決議事項

■と　き　令和8年10月29日(木)

■決議事項

●運営協議会規程の一部改定について

●当組合理事との取引の承認について

以上議案は承認されました。

車で事故を起こしてしまったときは

共済課　☎85・3175(直通)

8:30～17:00(土日及び祝日以外)

夜間・休日の場合は　0120・258931(ジコはクミアイ)

(365日24時間対応)

キャッシュカード・ローンカードを紛失・盗難されたときは

金融課　☎85・3173　または　各支店窓口

9:00～17:00(土日及び祝日以外)

JAの安心コール　0120・089286(オヤクニハロー)

(365日24時間対応)

プロパンガス・ガス器具のご用命は

燃料課　☎89・5558(365日24時間対応)

会館葬など各種葬儀のご相談は

葬祭課　☎85・0900(365日24時間対応)

日曜日は無料相談日(要予約)

アパート物件情報・不動産売買のご用命は

資産管理課　☎89・6211

キリトリ

Wai!Wai! Himawari　2026.12月号

●今回の特集に対するご意見をご記入下さい。

●ＪＡひまわりに対するご意見・ご要望などをお書き下さい。

キリトリ

グレー線部とのりで貼り合わせて下さい

のり

住　所		
〒　　－ 豊川市		
お名前	年齢	組合員区分
	歳	○を付けて下さい 正組合員 ・ 准組合員
電話番号		
(　　)　　－		

線に沿って折り曲げて下さい

ご協力ありがとうございました

個人情報保護のため、キリトリ線に沿って切り取りのり付けしてご投函下さい。

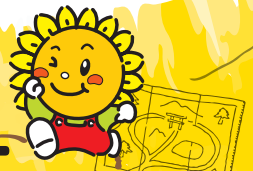
皆様から寄せられたご意見等は、毎月の定例会議などにおいて共有化を図り、迅速な対応や改善を心掛け、事業運営や組織活動に反映できるよう努めて参ります。

また、投稿用はがきにより取得した個人情報については、商品発送、ご意見等における対応以外の目的には使用致しません。

キリトリ

豊川市周辺のお出かけスポットをまりくんが毎月ご紹介します

お出かけまりてん





今月のお出かけ先

茜橋

あかねはし

豊川市御津町佐脇浜

だんだんと日が短くなり、夕暮れの時間も早くなってきたね。

今回は、御津町にある「茜橋」へお出かけしたよ！橋からは三河湾を望むことができ、夕暮れ時には空や海が少しずつ茜色に染まっていくんだ。時間とともに表情を変える景色は、なんだか幻想的！

忙しい毎日だけど、たまには足を止めて、一日の終わりに夕暮れを眺めるのもいいよね♪







新しい年は、上昇気流に乗っていきたいな！

Wai!Wai! Himawari 12

2026 DECEMBER VOL.440

組合員とＪＡのコミュニティ誌 わい！わい！ひまわり

発行日：2026年11月15日

発行者：ひまわり農業協同組合　総合企画部 企画課

〒442-8517 豊川市諏訪１丁目１番地　TEL 0533(85)3171

広報誌はホームページでも見られます

ＪＡひまわりホームページ

https://ja-himawari.com/

JAひまわり
LINE公式アカウント

グリーンセンター・産直ひろば
インスタグラム

JAHIMAWARIGREEN

本誌は、ＪＡひまわりの組合員向け広報誌（月刊）です。農業者以外の方でもＪＡの組合員になることができます。組合員への加入等については、当ＪＡの本支店窓口にお問合せください。

※山折りして記入いただいた個人情報をお隠し下さい。

キリトリ

POSTCARD

料金受取人払郵便

豊川局承認

2047

差出有効期間
2027年
10月31日まで

4 4 2 - 8 7 9 0

豊川市諏訪１丁目１番地
ひまわり農業協同組合 総合企画部 企画課
「Wai!Wai! Himawari 12月号」係

PRESENT

豊川市産
『いちご』を
抽選で5名様へ
プレゼント!!



〈応募方法〉

裏面に住所・氏名・年齢・電話番号をご記入のうえご応募ください。また、ＪＡひまわりに対するご意見、ご要望などもお待ちしています。なお、当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

〈応募締切〉 2026年12月15日迄

※写真はイメージです